

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

2695号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

秋サケ漁
最盛期



随 想	情 報	フオーラム	政 策
初心忘るべからず……	町村Navi……	アートでふるさと再発見 〜「大地の芸術祭」越後妻有アートトリエンナーレ〜 新潟県津南町……	離島地域対象に新エネルギー導入ブランドデザイン 経済産業省……
和歌山県町村会長 有田川町長 中山 正隆……(10)	……(7)	……(4)	……(2)

閑話 休題

町村が育てた大選手

ジャーナリスト 松本 克夫

夏以来、うれしいスポーツニュースに
関係町村が沸いている。日本人として史
上最年少で米国女子ゴルフツアー優勝を
飾った宮里藍選手は、沖縄本島北部の東
村の出身である。パイナップル生産で知
られる村だが、人口は二千しかない。村
では、「藍ちゃん」が小学校六年生の時
から後援会を立ち上げて応援している。

八月にベルリンでの世界陸上選手権の
やり投げで銅メダルを獲得した村上幸史
選手は愛媛県上島町の生名島(旧生名村)
で育った。中学時代の剛球投手ふりは海
を越えて鳴り響いていた。同じ世界陸上
の女子マラソンで銀メダルの尾崎好美選
手は神奈川県山北町で鍛えた。広い範囲
が丹沢大山国定公園に入る山間の町だ。

野球でも快挙があった。夏の甲子園で、
新潟県勢として初の決勝進出を果たした
日本文理高校のバッテリー、伊藤直輝君
と若林尚希君は共に山形県と接する関川
村育ちである。村の野球スポーツ少年団
時代からバッテリーを組んできた。もし

て、あの九年連続二百本安打のイチロー
である。名古屋出身のイメージが強い
が、実は北隣の豊山町の産である。
人口では全国の十分の一強しかない町
村が世界的な選手を輩出していることは
特筆していい。たまたま天才が現れた
だけさといえないことはないが、恵まれ
た素質も適した土壌がなければ開花しな
い。よき家族、よき友、よき指導者はも
ちろん、元気に育てと見守る周囲の温か
いまなさが欠かせない。いやいや、山
や川や寒風たつて、子供たちの鍛錬に一
役買つていよう。大選手の卵は多くの入
と自然によって育まれるとわかっていい。

この世で一番大事で一番難しい仕事は
人を育てることだろう。地域を見る際、
とかく経済指標などに目が行きがちだ
が、地域の真価が問われるのはどうい
う人間を育てたかである。たこえ過疎でも、
たくましく、へこたれず、志の高い青年
を育てられれば、金メダルに値する。栄
冠に輝く選手たちを育てた町村に乾杯。

写真募集

本誌表紙に掲載の写真を募集して
います。
四季折々の風物や行事など適当な
写真がありましたらご寄贈下さ
い。(写真には題名、町村名を付し
て下さい)
なお、採否は当方に一任願います。
送り先: 全国町村会・広報部

離島地域対象に 新エネルギー導入グランドデザイン

—パターンやプロセス提示—

経済産業省



太陽光や風力、水力、地熱、バイオマス（生物資源）などの新エネルギーは、輸入に依存する石油や石炭と異なり、無尽蔵な「純国産」のエネルギーと評価できる。その導入拡大は、二酸化炭素（CO₂）の排出抑制といった地球温暖化防止の観点からも、また地域経済の振興という観点からも、重要な政策課題と位置付けられている。一方、電力やガス、石油などを本土からの長距離輸送に頼っているケースが多い離島地域は、一般的に日照条件や風況（風の吹き具合）が良く、新エネルギーの適地とされる。

経済産業省はこうした状況を踏まえ、内閣府や国土交通、総務、農林水産の3省、電気事業連合会、全国離島振興協議会の協力を得て、このほど「離島における新エネルギー導入グランドデザイン」を策定。離島での新エネルギー導入拡大を促すべく、導入の基本的なパターンやプロセスなどを提示した。

◆太陽光・風力で「ポテンシャル」

電気事業連合会によると、離島振興法、沖縄振興法、奄美振興法、小笠原振興法の対象となっている312の有人離島のうち、10キロワット以上の新エネルギー設備がある島は27で、全体の8・7%にとどまっている。電源別にみると、風力発電が21施設

と最も多く、水力発電と太陽光発電がそれぞれ9施設で続いている。

離島と本土・本島（離島以外）で、人口1人当たりの発電設備容量と面積当たりの発電設備容量を比べると、風力発電と太陽光発電では離島の方が大きくなっている。このため経産省は、風力発電や太陽光発電の導入について、離島は「少なからずポテンシャルがあると考えられる」と分析した。

離島の多くは九州・沖縄、瀬戸内海の両地域に位置し、日射量が多いことから太陽光発電に適している。また北海道、東北、日本海、東シナ海沿いの地域に位置する離島は風が安定して吹いており、風力発電に適している。一般的に高低差が小さく、水力発電には向いていないとされるが、用水路などにも設置可能な小水力発電であれば、導入可能な場合もある。

そこで経産省は関係者の指針となるよう、導入の基本的なパターンを示した。指標としたのは、電力の本系統との連系の有無や島の人口密度だ。

例えば本系統と連系のない島の多くは、ディーゼル発電などに依存。燃料を島外から運搬しているため、社会的コストの低減やエネルギーセ

政 策

キュリティーといった観点から、新工ネ導入のニーズは強い。日射量が多いという自然環境に加え、今後は太陽光発電システムの価格低下も予想されることから、特に太陽光発電の導入拡大が期待されるとした。

ただ、新工ネは出力が不安定であるため、その導入に際してはディーゼル発電などのバックアップ電源の維持・管理、蓄電池などを活用したシステム構築が不可欠となる。

一方、本系統との連系がある場合は、電力が安定的に供給されており、新工ネ導入のニーズは連系のない島ほどではない。しかし新工ネの不安定さを補い、余剰電力も吸収可能であるため、導入しやすい環境にあるとも考えられる。

離島は一般的に人口密度が低く、未利用地も多いことから、大規模施設の立地には有利な面もある。さらには本系統と離島を結ぶ電力系統に余裕があれば、離島からの送電も視野に入れた対応が可能だ。ただ、この場合は送電設備費用も含めた社会的コストの妥当性を検討する必要がある。

人口密度を指標に見ると、離島は1平方キロメートル当たりの人口が平均約90人だが、新工ネ発電設備の

ある離島は同約140人となっている。ただ人口密度が小さい方が、地権者や地域住民との調整は容易で、「マイクログリッド」といった新たな電力供給システムも、まずは小規模な地域単位からの導入になることが想定される。

また、太陽光発電や太陽熱利用といったシステムは、小規模・分散型でも導入が可能で、各施設で発生したエネルギーを自家消費できるので、人口密度に関係なく導入できるメリットがあるという。

◆補助事業、採択時に配慮

導入に至るまでのプロセスとしては、①可能性検討・事前調査②エネルギー需給の調査・検討③採算性の試算・検討④環境に与える影響などの調査⑤ビジョン・計画の策定⑥資金計画、設計・施工⑦効果検証・フォローアップという7つの段階を示した。

可能性検討・事前調査では島の日射量や風況、河川・水路の水量などを調べ、どのような新工ネに適しているかを把握。特に日照や風況は、同一地域であっても地形などに左右されるため、専門家による計測が望ましいとした。

エネルギー需給については、供給・

需要のどの部分を新工ネで代替・依存可能かを検討。供給に占める新工ネの割合が大きくなる場合や、重要な装置の駆動に新工ネを用いる場合には、バックアップ電源や蓄電池の必要性も併せて考慮するよう提案した。その際には年、月、日、時間帯といった単位で詳細に検討すべきで、電力会社などの専門家が作業に参加することが望ましいと付言している。

採算性の検討に当たっては、ケースに応じた試算が必要だ。太陽光発電や風力発電のコストは設備の大きさや設置する場所によって大きく異なるし、小水力発電やバイオマス発電の発電原価には個体差がある。加えてバイオマスの場合、燃料コストの変動や燃料調達の実定にも注目を払わなければならないとした。

また初期費用だけでなく、ランニングコスト（保守費用や故障に備えた保険費用など）、バックアップ電源の維持・管理費用も考慮する必要がある。CO₂の削減効果や地域振興への寄与といった点についても、定量的に評価するよう留意を促した。

環境影響については、風力発電などの大規模な施設立地を検討する際に、地方自治体の条例や新工ネ

ギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のガイドラインに沿って、十分に調査すべきだとした。

自治体为主导するにせよ、民間事業者为主导するにせよ、こうした検討・調査の結果を踏まえながら、住民や行政、電力会社などの関係機関が合意形成を図り、新工ネ導入のビジョン・計画を策定する。その上で資金計画を含め、より詳細な計画を作り上げ、実行に移すことになる。

導入・稼働後は、発電電力量をはじめとする運転状況を監視し、保守・メンテナンスを適正に実施。費用対効果を検証し、さらなる設備投資の検討に役立てる。その際、効果は買電量の節約や売電収入だけでなく、地域振興などへの寄与度も考慮すべきだとした。

経産省はグラウンドデザイン策定を受け、社団法人新エネルギー導入促進協議会（東京）に相談窓口を開設するとともに、内閣府と国交、総務、農水の3省で関係省庁連絡会議を設置するなど、離島における新工ネ導入拡大に向けた体制を整備。関連する補助事業の採択に当たっては、離島での取り組みに一定の配慮を講じることとしている。

（時事通信記者 逆瀬川英明）



アートでふるさとを再発見

「大地の芸術祭」 越後妻有アートトリエンナーレ

大な河岸段丘が形成されている。

このように信濃川とその支流によって階段状につくられた特異な地形「河岸段丘」は、平坦な面と切り立った崖とで形成され、その段丘面の広がりとして9段もの段数は日本最大規模といわれている。

また、この右岸の大地は灌漑用の池沼が多数点在し、津南町の主要な農耕地となっており、水田を中心に広大な農地が広がりをを見せている。

津南町の農業は「魚沼コシヒカリ」に代表される稲作、ニンジン・アスパラガス・花卉・葉たばこ等の畑作のほか酪農とキノコ等の特養林産物の産地として知られている。

また、この段丘上で繰り広げられる夏の風物詩「ひまわり広場」は1ヶ月間で約7万人が訪れ、「ひまわりの町つなん」でも知られるようになってきた。



河岸段丘のまち 「新潟県津南町」の風景

津南町は新潟県南部、長野県下水内郡米村に接し、千曲川が信濃川と名前を変える県境の町である。

町の北部を大河信濃川が南西から北東に流れており、信濃川左岸は傾斜が大きく、泥岩、砂岩、礫岩を主とする関田山脈が信濃川と平行に走り、急傾斜が多く耕地面積は少ない。

信濃川右岸地域は、溶岩台地の苗場山の裾が広大な緩傾斜面をつくって信濃川に達し、斜面の下部には9段の雄

近隣市町村のようす

津南町は平成の市町村合併には加わ



つなんまち
新潟県 津南町

△信濃川とその支流によってつくられた河岸段丘は日本最大規模といわれる

フォーラム

らなかつたが、隣接する十日町市は旧十日町市、旧中里村、旧川西町、旧山之山町、旧松代町の5市町村が2005年4月1日に合併し現在に至っている。

十日町市は、'55年代の高度経済成長期から旧十日町市を中心に「きもの産業」が大きく成長をはじめ、これを主産業にして栄えてきたが、'75年代に入り生活様式の変化の波に洗われ、出荷額や従業員数が減少しつつ現在に到る。また、合併した旧中里村、旧川西町、旧松代町、旧松之山町及び津南町は稲作を主体とする農業を主産業とする農山村であるが、かつて旧十日町市



▷「ひまわり広場」には1ヶ月で約7万人が訪れる

の周辺町村は「十日町の着物」関連の仕事に深く関わっており、地域の人口集積地でもある旧十日町市は周辺の地域にも様々な経済的影響を与えてきたところである。

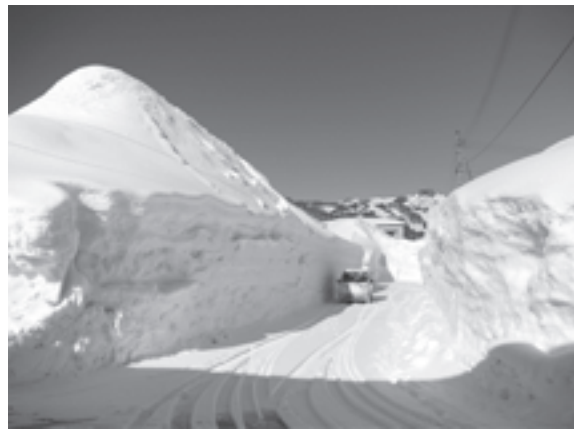
近年においては、新規卒者の圏外流出や定着率の減少、'70年からの減反政策等の影響もあり、農業離れや後継者不足が深刻な状況を呼び起こしている。さらに、旧十日町市の織物産業の不振もあって雇用の場の確保が重要な課題となっている。

日本有数の豪雪地帯

津南町は深田久弥氏の「日本百名山」の一つ「苗場山」を最高峰(標高:2,145.3m)とし、信濃川の最低地点(標高:177m)まで標高差約2,000mに広がる面積170.28km²の農業を基幹産業にした町である。総面積の65%を山林・原野が占め、耕作地は20%(水田:約2,000ha、畑:約1,300ha)となっている。

当該地域は日本海から直線距離でわずか30kmに位置し、冬の大陸からたくさんの水蒸気を含んだ北西の季節風が山(関田山脈)にぶつかり、急激に上昇することによって冷やされ、多くの雪を降らせる。この地域の積雪量は、通常でも3mにも達し、日本有数の豪雪地帯である。隣接する長野県栄村においては、1945年に7.85mの積雪

◁積雪量は通常でも3メートルに達する日本有数の豪雪地帯だ



を記録している。

アートによる町づくり

新潟県は、広域市町村圏(構成市町村)と住民が一体となり、ソフト及びハード事業を組み合わせ、個性的なプロジェクトを展開することを支援する「ニューにいがた里創プラン」事業(平成6年)を提唱し、独自の施策を全国に先駆けてスタートした。

十日町広域圏は、当該地域の中核的役割をなす十日町市の織物産業不振、その他の地域でも農業離れや後継者不足、少子高齢化や各自治体財政の逼迫等、先行き不透明な状況の中で、当該

事業のソフト事業とハード事業を同時に取り込むことによって、活路を見出そうとした。

そのため、十日町広域圏の構成市町村(十日町市、中里村、川西町、松代町、松之山町、津南町)は「ニューにいがた里創プラン」事業の指定を受け、越後妻有アートネットワーク整備構想の中で圏域に現代アートを取り入れることにより「交流人口の増加」、「情報の発信」、「地域の活性化」を実現しようと考えた。

この広域圏で取り組み始めた事業が現代アートの祭典「大地の芸術祭(越後妻有アートトリエンナーレ)」である。

「大地の芸術祭」(越後妻有アートトリエンナーレ)の経緯

「大地の芸術祭」は、新潟県から支援をいただき、2000年から3年ごとに開催してきた現代アート(野外展示・屋内展示)の祭典である。

2000年の第1回展は、旧十日町市、旧川西町、旧中里村、旧松代町、旧松之山町(以上の5市町村は2005年4月1日に合併し現十日町市)と津南町で実行委員会を設立し、実施してきた。構想では、各自治体に核となる施設を造り(ハード事業)、アート作品(ハード事業・ソフト事業)を導入することによって圏域内の市町村をアートで繋ぎ、地域の活性化を図ると

フォーラム

◁「大地の芸術祭」では、創造する喜びと交流の楽しみが生まれた



その後、2003年には第2回展が開催され、途中(2005年)新十日町市が合併により誕生し、2006年に第3回展、本年(2009年)に第4回展が開催され現在に至っている。

アートで「気づき」

第1回展では圏域の自治体間でも温度差があり、住民の協力もなかなか得ることができなかった。しかし、回を重ねるごとに住民も「大地の芸術祭」で汗を流す楽しさや様々な世代間での交流に興味や楽しみを見出した。集落や個人で土地を提供し、作家や「こへび隊」(学生等のボランティアグループ)等と作品制作を一緒に行うことで、「創造する喜び」や交流の楽しさが生まれ、地域の自然や文化・歴史を見直すきっかけを創り出した。

当初はアートを地域振興の手法とする斬新さへの注目とその効果への疑問が交錯する中で開催され、県・市町村との間でも議論が紛糾した。当然、現代アートを地域振興の手法とすることには市町村間でも温度差があり、積極的に推進する住民や自治体等と否定的なところが様々な場面で衝突した。それに加え、地元マスコミも様々な論調で紙上を賑わし、「アート」の是非をめぐる大きな論議が巻き起こったのである。

そんな紆余曲折を経ながらも、2000年の7月から9月までの50日間、第1回の芸術祭は開催され、斬新さへの期待と未知への不安が交錯する第一歩に踏み込むこととなった。

お金さえあれば何でも買える世の中で、作家も住民も素敵な時間と空間、心豊かな笑顔と心地よい汗に出会った。お金では買えない大事な「モノ」に気づいたのかも知れない。

また、作家にとってはその土地々々の作品制作を地域の老若男女と語り合い、交流することによって、生きる知恵を見出し、農業の大変さと苦しさを知り、楽しさと自然の美しさを知る

ことができた。

第1回目の祭典から約10年という歳月が流れ、第4回目の芸術祭は過去の反省点も踏まえ、シャトルバスやレンタサイクル等の交通システムの確立等もある程度充実してきたところである。

何よりも、地域の方が地域の自然や文化に自信と誇りを持ちながら活き活きと芸術祭に参加していることが、この10年間の大きな変化であり財産である。

妻有地域は面積で約760km²という広大なエリアに38の国と地域のアーティストによる作品約370作品が分散している。この広大なエリアに存在する様々な財産・魅力、そしてアート作品をいかに地域の産業に結びつけるかが今後重要となる。

今後のまちづくりの視点

津南町は農業立町を基本理念とし、1973年から国営苗場山麓総合農地開発事業の導入によって、青年農業者を中心に広大な農地を利用した大規模経営が図られてきた。2001年(平成13年)までに畑地造成・区画整理960ha、水田の区画整理878haが完了した。

▷津南町は、食糧基地としての役割を果たしつつ、地域の魅力を情報発信していく



▷「津南町は、食糧基地としての役割を果たしつつ地域の魅力を発信していく」

津南町は「大地の芸術祭」(越後妻有アートトリエンナーレ)での交流や作品制作の中で培った「地域の誇り」や「地域の宝物」を農業といかにリンクさせ融合させるか、いかに農業に付加価値を付けるかが今後の大きな課題となるであろう。
(町長 小林三喜男)

情 報



町村Naviコーナーでは掲載情報を募集しています。掲載をご希望の場合は全国町村会広報部 (TEL03-3558-1104)8(6)まで。

宮城県利府町
新型インフル対策で小中学生にマスクを配付

町はこのほど、新型インフルエンザの大規模流行や集団感染の防止などを目的に、町立小中学校の全生徒にマスクを配付することを決めた。マスクは生徒1人につき50枚を配付する。

町立小中学校は全部で9校。町内に住み、私立の小中学校に通っている生徒にもマスクを配付する予定で、対象になる生徒数は約3,500人になる。購入費用には約350万円を見込み、9月定例議会に補正予算案を提出。議会の成立を受け、町は配付に向けて作業を行っている。配付するマスクは合計約17万5,000枚で、1箱50枚入りの製品を予定している。

このほか、町は教育機関での新型インフルエンザ対策として、学校への消毒液の配付などを実施している。

宮城県大田町
袋田の滝の新観瀑台1周年でフォトコンテスト

町は、日本三名瀑のひとつ「袋田の滝」に昨年設置された新しい観瀑台の1周年

を記念し、町の風景をテーマにしたフォトコンテストを実施している。町長や写真家の浅井慎平氏らが審査する。

「袋田の滝」は高さ120m・幅73mを誇り、大岸壁を4段に流れることなどから、別名「四度の滝」とも呼ばれる。昨年9月に、従来の観瀑台より高い位置に新しい観瀑台を設置した。

それから1年を記念し、町の風景をテーマに、町内で撮影した写真を募集し表彰するコンテストを実施することにした。応募はプロ・アマを問わず作品は1人3点までとし、画像加工、合成等は不可。応募手数料は無料とした。11月30日まで募集し、来年1月に最優秀賞(1点)など入賞者を発表する。入賞作品は町が作成するパンフレットやポスターなどの広告宣伝などに使用される。

宮城県野田村
非常時の持ち出し袋を全戸配布

村は、村民の防災意識向上の一環として災害時等の非常用持ち出し袋を全戸配布することを決めた。近く、同袋の活用方法などを解説した文書を作成し、袋と一緒に配付する。

「木曾川の源流 信州木祖村」をキャッチコピーにしている村は、周囲を2,000級の山に囲まれた深谷型の山村で、河川沿いに集落が散在している。しかも、主要交通路の国道・鉄道は峠やトンネルを超える必要があり、災害時には孤立しやすい。さらに、日用品等を扱う商店も減少している。このため、災害時には各戸が2〜3日分の食料を備蓄し、いざという時には背負って持ち出せる非常用持ち出し袋(ナップザック)を全戸配付することにしたもの。対象は約1,200世帯。予算の関係で備蓄品までは配付しないが、村では各世帯が備蓄品を揃えることなどを通して防災意識が高まることを期待している。

宮城県佐賀町
「町の歌」制作へ歌詞等募集

町は、「町の歌」を制作するため、歌詞等を募集している。町歌は、合併で誕生した町の輝かしい発展を願うと同時に、町民の郷土愛を醸成するのが狙い。

町は05年3月に、中原町、北茂安町、三根町の3町が合併し誕生。「話と和」はつらつとびる 交流新都」を基本理念に、個性と魅力ある地域づくりを進めているが、町にふさわしく、町民に親しまれ、歌い継がれる町歌を募集する。

募集するのは歌詞のみか、歌詞にメロディーなどをつけて曲として完成させたもの。曲として応募する場合は、演奏の音源・楽譜も提出してもらおう。誰でも応募可能とし、歌詞と別に、作品を作った背景や想いも記述するよう求めた。

11月2日まで募集し、最優秀作品(1点)などを選定。広報紙やホームページで発表する。

宮城県沖縄伊
「村の方言辞典」改訂版を発刊

村は、消えゆく村の方言を後世に伝えるようと「新版 沖縄伊江島方言辞典」を発刊した。半世紀にわたり伊江島方言を調査・研究している広島経済大学の生塩睦子教授がまとめた。初版(1999年)は約1万2,000語を収録したが、新版では語彙も増やし、方言だけでなく標準語からも検索できるようにした。約700ページに及ぶ大冊で、500部印刷。村の図書館をはじめ、全国の主要図書館等にも寄贈した。定価は一冊3,000円で、村民は2,000円で購入できる。村では、名譽村民でもある生塩先生を招き8月に発行祝賀会を開催。大城勝正村長や方言の聞き取り調査に協力したお年寄りらが参加。イーシマグチ(伊江島方言)による読み聞かせや中学生による発表などが行われた。生島教授は「島の言葉をおぼえることは島を忘れてしまつこと。良い言葉を後世に伝えていきたい」と語った。

ユネスコによると、世界では2,500言語が消滅の危機にあるという。我が国でも、沖縄語などが対象になっており、「イーシマグチ」は現在ほとんど使われなくなっている。村教育委員会では、同辞典を活用して子どもたちにも島の文化・歴史とあわせて方言の教育を行うことなどを検討している。

健康情報

秋も怖い食中毒

ライター 高村節子

涼しくなっても要注意

一般的に、食中毒といえは暑い季節のものと考えがちです。しかし実際は、暖房機能の発達なども手伝い、冬を含め季節を問わず年間を通して発生しています。もちろん、発生件数が増えつつも多いのは梅雨から夏にかけてですが、まだまだ秋口は油断大敵、涼しくなってきたからと気を緩めるのは時期尚早なのです。

食中毒のおもな特徴については、皆さんも一般的な知識はもっているかと思うので、簡単に説明します。食中毒は食べ物に細菌が付着して増殖したもの、フグやキノコを食べて起きる自然毒によるもの、そのほか洗剤などの混入によって起きるものなどがあります。これらを口にすることで下痢、腹痛、嘔吐など、おもに消化器系統の症状が起きます。しかし、軽症だと力ぜや寝冷えと勘違

いして放置してしまい、脱水、発熱、呼吸麻痺などを起こしてしまうことがあります。ひどいときには死亡することもあります。

生死にかかわるようなことを書いて脅かしてしまいましたが、それを防ぐためには、ついやってしまう日常の「うっかり」をなくすることが大切。じつはとても簡単なことを守ればよいのです。さあ、しっかり食中毒を退治しましょう。

食中毒を防ぐ三原則

食中毒の大半は食べ物に細菌が付着して起きる細菌性のもので、ですから、予防のポイントは、細菌を「つけない、増やさない、殺す」の三点なのです。

つけない

まずは手洗い、調理器具をきれいに保つことの徹底。食べ物に細菌を

つけないければ、食中毒は起こりません。食品や調理器具に触れる前はもちろん、日常からこまめに手を洗いましょう。まないたや包丁は野菜、肉、魚などによって分けて使い、きっちり消毒するなりして使いましょう。食器や保存容器もしっかり洗って乾燥させて使うほうがよいでしょう。

増やさない

どんなに食べ物に細菌をつけないよう頑張っても100パーセント無菌状態にすることは一般家庭では不可能でしょう。そこで大切なのは、ついでしまったのなら、それ以上増やさないこと。一般的に食中毒細菌は摂氏10度を超えると急激に増殖します。

ですから、新鮮なものを購入し、その日のうちに食べたいものです。また冷凍・冷蔵食品を購入した際には、お店を出たら自宅へ直行しましょう。移動の時間を短くし、適切な温度を（冷たいまま）保たせるため、自宅の冷凍・冷蔵庫へ保存をするためです。

また、調理済みだからといって安心は禁物。火を通すにしても、その

日のうちに食べられる量で調理しましょう。もし残り物がちょっと時間が経っていておかしいと感じたら、迷わず廃棄すべきです。

殺す

細菌の大半は熱に弱いので、食べ物を中心まで十分に加熱することで大きな殺菌効果を得られます。生焼け、生煮えは危険です。熱を通せる食品は味を損なわない程度にしっかりと加熱しましょう。

調理器具やシンクなどは塩素系漂白剤もよいですが、熱湯消毒を定期的におこなうことで清潔に保ちやすくなります。

先に述べましたが、食中毒の大半は細菌性です。手に雑菌が残っていた、加熱が甘かった、ちょっと常温で放置してしまった、などの「うっかり」をなくすことで発症を防げるのだと、日常から頭の隅に置いておいていただければと思います。



情 報

平成21年度民生用燃料電池導入支援補助金事業について

一般社団法人 燃料電池普及促進協会

一般社団法人燃料電池普及促進協会(FCA)では、国(経済産業省)からの補助金により、燃料電池システムの設置を行う方に対して、導入費用等の一部を補助する事業を実施しております。

補助金制度の概要

民生用燃料電池導入支援補助金は、これから燃料電池システムを住宅等に設置して使用することを予定している方又はリース等により提供を行う方に対して、その導入費用の一部を支援するために国から補助金を交付する制度です。補助金額は導入費用の2分の1相当(上限140万円)です。

補助金申込の募集期間は平成22年2月10日まで、補助金交付申請書提出締め切りの3月10日(必着)時点で装置が稼働していることが条件です。

申請者には、新規に購入し日常的に6年以上使用することや、機器設置工事着工前に申請を行うこと、各書類の提出期日を守ること等、要件があります。

燃料電池とは

燃料電池システムとは、都市ガス、LPガス等のエネルギーから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させ発電する仕組みとなっています。その際に出るのは電気と熱と水という、今までにないエネルギーの使い方です。

家庭でエネルギーをつくる燃料電池シ

ステムなら、発電の際に発生する熱を捨てずにお湯を作り給湯に利用でき、二酸化炭素排出量も削減できます。

自治体の取り組み

国の補助制度のほかにも、一部の自治体では燃料電池システム購入者に対する独自の補助・支援制度が用意されています。国の補助と併せて利用できる自治体を当協会ホームページで紹介させていただきます。

「燃料電池システム購入者への補助・支援制度を行っている自治体」

岩手県葛巻町・宮城県・茨城県つくば市・栃木県鹿沼市・埼玉県戸田市・所沢市・草加市・東京都荒川区・北区・江東区・墨田区・練馬区・小平市・調布市・西東京市・府中市・三鷹市・武蔵野市・福生市・新潟県魚沼市・石川県・静岡県富士市・愛知県岡崎市・東浦町(当協会調査)

このように記載されていない情報がありましたら、当補助金事業センターまでご一報下さい。

連絡先

一般社団法人 燃料電池普及促進協会「補助金事業センター」
電話番号：03-3508-10730
http://www.fca-enetarm.org

都道府県別市町村数

(平成21年10月5日現在)

Table with 17 columns: 都道府県, 町, 村, 町村計, 市, 計, 都道府県, 町, 村, 町村計, 市, 計, 都道府県, 町, 村, 町村計, 市, 計. Rows include Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Akita, Yamagata, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Shiga, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Fukuoka, Oita, Kumamoto, Kagoshima, and Total.

随 想

随 想

初心忘るべからず

和歌山県町村会長
有田川町長 中山 正隆



●有田川に育まれて

平成18年1月1日、吉備町・金屋町・清水町の3町が合併して、有田川町は誕生しました。町名が表すとおり、世界遺産・高野山を源流とする有田川が、町の中央部を東から西へと流れています。

有田川流域の豊かな風土は、バラエティに富んだ農林産物を生みだしています。全国的に有名な地域ブランド「有田みかん」をはじめとする柑橘類、生産量日本一を誇る「ぶどう山椒」、「スプレー菊」や「トルコギキョウ」などの花卉、「ししとつ」や「トマト」といった高冷地野菜など、様々な農林産物の生産が盛んです。

として有名な有田川には、京阪神からも釣りを楽しみ釣り人が集い、賑わいを見せています。

●自然との共生

さて、バラエティに富んだ農産物を紹介させていただきましたが、わが町は、地域ごとの特色も実に様々なものがあります。有田川下流域では都市計画区域が定められている一方で、上流域では自然豊かな国定公園や県立自然公園を有しています。

町のシンボルである景勝地も数多くあります。代表的なものとしては、白い風車と青い空、色とりどりのコスモスが織り成すコントラストが美しい「鷲ヶ峰」コスモスパーク、スキ草原とパノラマビューが楽しめる「生石高原」、日本の棚田百選にも選ばれている「あらぎ島」などがあります。

地域の誇りとして愛されているこ

これらの景勝地には、住民の方が、率先して環境整備やイベント運営などの取り組みをされています。一例を挙げると、「あらぎ島」では、地元の保育所の子どもたちや自営業の方々、都市部の方に田植えや稲刈りを行っていただいています。さらに、

本町は秋篠宮妃紀子さまとの縁が深いことから、地元有志が中心となり、悠仁さまのお誕生日である9月6日に、あらぎ島の畦道に設置した竹灯籠に火を灯す「キャンドルライトイ

ルミネーション」というイベントが開催されます。それぞれの主旨・目的は異なるものの、こういった取り組みを通じて、郷土を愛し、農村を守る風土が醸成されていくことは、行政を担う者として喜ばしい限りであります。

なお、平成25年には、本町で全国棚田サミットが開催される予定です。全国に有田川町の魅力を発信する絶好の機会として、注力していきたいと考えています。

●これから

本年4月にオープンした「有田川

町地域交流センターALEC」は、連日多くの方にお越しいただき、好評を得ています。今後、町内の観光施設などを結ぶ巡回バスの運行を年内に開始し、明年3月には有田川町鉄道交流館がオープン予定です。

これからも、有田川町が持つ力・可能性を最大限に活かすための施策を講じるとともに、育成が必要な分野においては、行政からの支援を行っていきます。

私は、「初心忘るべからず」という言葉を座右の銘としています。これは、室町時代の能役者・能作者、世阿弥が遺した言葉です。合併から3年が経過し、これまでを振り返ってみると、まずまず順調なスタートをきれたのではないかと、この思いがあります。

しかし、初代町長として抱いた志や目標を忘れてはならないか、そして、試練を乗り越えてきたこれまでの経験を忘れてはいないか、と常に自らに問いかけています。町民の皆様や、本町を訪れる方の声に耳を傾けながら、これからも誠実に、そして謙虚に町政に当たっていく決意です。

今年のは ツイているかも。

ジャンボな ツキが!!

9/28日 発売

1等・前後賞合わせて

2億円

2009年 新市町村振興宝くじ

オータムジャンボ宝くじ

1枚 300円

売り切れしだい発売終了

1等 1億5,000万円 / 前後賞各 2,500万円
2等 1,000万円 3等 100万円

発売期間 9月28日(月)~10月16日(金)
抽せん日 10月23日(金)



この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

財団法人 全国市町村振興協会

TIME of RELAXING

「ゆとり」と「やすらぎ」のひとつとき

静かさ心地よさに配慮し、室内インテリア全体を落ち着いた雰囲気にとまどめ、ゆったりとしたやすらぎのひとつときをお届けいたします。

<http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>



土・日・祝日は
リーズナブルに

土・日・祝日のご宿泊は、
平日料金の **20%OFF**

金曜日のご宿泊は、
平日料金の **15%OFF**

和室もございますのでお問い合わせ下さい。
禁煙ルームをご用意いたしました。



洋室シングル

シングル 119 室
平日料金 9,817 円より **SINGLE ROOM**

金曜日料金

15% OFF 8,344 円より

土・日・祝日料金

20% OFF 7,854 円より



洋室ダブル

ダブル 12 室
平日料金 13,282 円 **DOVLE ROOM**
(2名利用) ※1名利用の場合 11,072 円

金曜日料金

15% OFF 11,289 円
※1名利用の場合 9,326 円

土・日・祝日料金

20% OFF 10,626 円
※1名利用の場合 8,778 円



洋室ツイン

ツイン 17 室
平日料金 18,480 円より **TWIN ROOM**
(2名利用)

金曜日料金

15% OFF 15,708 円より

土・日・祝日料金

20% OFF 14,784 円より



会議室・宴会場

2階には広さと設備が多様な、大小4つのホール、会議室。高い機能性を持ち、さまざまな演出が可能です。会議・研修、パーティーなどに幅広くご利用いただけます。



カジュアルレストラン「ベルラン」

ランチタイム 11:00 ~ 14:00
ティータイム 14:00 ~ 17:00
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30 ラストオーダー)



和食処「さいかち」

ランチタイム 11:30 ~ 14:30
(14:00 ラストオーダー)
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30 ラストオーダー)



全国町村会館

市町村職員共済組合等の宿泊助成券がご利用いただけます。

お電話にてご予約・お問い合わせは

TEL 03(3581)0471

FAX 03(3581)0220

〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号

ご宿泊の予約が、全国町村会館の WEB からお申し込みいただけます。

<http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>

全国町村会館へのアクセスガイド

- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」3 番出口徒歩 1 分
- 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩 5 分
- タクシー東京駅から約 20 分

